

1. 件名：東海再処理施設安全監視チーム会合に係る面談
2. 日時：令和元年11月18日(金)17時00分～18時45分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中安全審査官、有吉主任技術研究調査官、小舞管理官補佐、
堀内安全審査官、内海研開炉係長、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 再処理廃止措置技術開発センター
ガラス固化部 ガラス固化処理課 課長 他3名

5. 要旨

○原子力機構より、次回の東海再処理施設安全監視チーム会合の資料案に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、改めて、前回令和元年11月6日の監視チーム会合において指摘している以下の内容を求めた。

【資料2について】

- ・安全対策に関する廃止措置計画の変更認可申請については、高放射性廃液に対するガラス固化作業が停滞しているため、これまでの監視チーム会合において、早期の変更認可申請を再三求めているが、検査に係る内容を分割するための補正申請や事故評価の結果を含めた変更申請への対応が遅く、優先して行われているように見えない。
- ・工程洗浄に関する廃止措置計画の変更認可申請についても、12月中に申請することのだが、安全対策を優先して実施していくとした原子力機構の対応が理解できないため、廃止措置計画全体の変更認可申請の優先順位と計画全体の管理の考え方を次回会合で説明すること。

○原子力機構から、承知した旨返答があった。

6. その他

資料1：ガラス固化技術開発施設(TVF)における固化処理状況について
－漏れ電流発生の方後の対応－

資料2：廃止措置の進捗状況